

## 「日立市コミュニティ活動の在り方検討委員会」提言書（素案）のパブリックコメントの結果概要

1 意見募集期間 令和3年2月10日（水）から2月28日（日）まで

### 2 閲覧方法

- (1) 市ホームページ及び日立市コミュニティ推進協議会ホームページへの掲載
- (2) 市内公共施設等への印刷物配架（市役所、各支所、各図書館、各交流センター及びJR日立駅 計35か所）

### 3 周知方法

- (1) 市ホームページ、Facebook、Twitter
- (2) 市報（1月20日号）
- (3) 日立市コミュニティ推進協議会ホームページ
- (4) JWAY（デイリーひたち）
- (5) 報道機関投げ込み

### 4 提出件数

応募方法	ボックスへの 投函	持参	郵送	FAX	メール	ホームページ	計
件数	80	18	21	26	8	26	179
人数	42	1	9	13	6	13	84

### 5 年齢構成

～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	その他	計
0	2	3	3	10	25	30	0	11	84

## 6 意見等の件数

分野	背景と趣旨	現状と課題	目指す姿と方向性	提言Ⅰ 「組織」	提言Ⅱ 「活動」	提言Ⅲ 「意識」	その他	計
件数	3	11	1	75	18	43	28	179

## 7 提言書への反映状況

区分	反映内容	件数
A 趣旨含む	素案の中に、既に意見の趣旨が含まれているもの、または文言等を修正し盛り込んだもの	56
B 今後検討	(具体的な提案等) 今回の提言と併せて、今後行動計画策定の中で検討していくもの	75
C 参考意見	委員会でも様々な意見があり、具体的に提言書には盛り込めないが、今後参考にするもの	35
D その他	今回の提言とは趣旨が異なるため回答は控えるが、貴重な意見として受け取るもの	12
—	感想等	1

## 8 提出された意見とその意見に対する市の考え方について

(1) 下表の「意見の内容」欄には、原則として提出された意見を原文のまま掲載していますが、原文の趣旨を変えないで要約または修正しています。

(2) 「反映状況」欄には、次の4つの区分を掲載しています。

- A 趣旨含む : 素案の中に、既に意見の趣旨が含まれているもの、または文言等を修正し盛り込んだもの
- B 今後検討 : (具体的な提案等) 今回の提言と併せて、今後行動計画策定の中で検討していくもの
- C 参考意見 : 委員会でも様々な意見があり、具体的に提言書には盛り込めないが、今後参考にするもの
- D その他 : 今回の提言とは趣旨が異なるため回答は控えるが、貴重な意見として受け取るもの

	No.	該当ページ	内容	分野	反映状況	市の考え方
1	1	P 2	「町内会等への加入促進」の6「住民説明会等への支援」について、近隣に新規住民が越してきたとき、あるいは未加入の住民がいるとき、町内会への入会を勧誘するのは町内会長であろうが、その町内会長は毎年輪番制で交代するので、毎年度、新規町内会長に「加入促進チラシ」を配布するなり、説明するなりの取組を行うべきと思う。	提言の背景と趣旨	A	<p>たくさんのご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>「加入促進チラシ」につきましては、提言Ⅰ新たな時代にふさわしいコミュニティ組織2自治会・町内会との支え合いの中で、コミュニティが市とともに、チラシやパンフレットを作成し全戸配布するなど、共助の大切さを啓発する必要性を盛り込んでいます。</p>
	2	P 3	「市報の配布方法のあり方」について、1, 2, 4は「実施済、終了」とあるが、どのような結果になったのか全く分からない。重要度「高」の項目のうち、「終了」としているものについては具体的な説明の記述があるべきである。	提言の背景と趣旨	C	
	3	P 3	「市報の配布方法のあり方」の3「全戸配布に向けた	提言の背景	C	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			<p>取組の推進」を早く実現してほしい。市報の月2回の配布等が負担なので町内会を抜ける、町内会を解散するという実態が生じている。「市報配布」で「町内会加入促進」を目論んでいるのであろうが、それが負担で町内会を抜ける、解散するような事態は本末転倒と言わざるを得ないし、あってはならないことである。全戸配布あるいは別途推進員の採用など、いくらか費用が掛かっても早急にやるべきである。その関連で言わせてもらえば、市報発行が本当につき2回/月も必要か、1回/月にならないか？そうすれば編集・印刷の費用も減る、配布の負担・費用も半分になるなど、メリットは大きいので絶対に検討すべきである。</p>	と趣旨		
2	4	P 5	<p>2019年総人口を見ても高齢者が若年層より多くなっている。現状の予算の流れとは逆に、元気な高齢者が若い世代をサポートする仕組みづくりが必要。病弱な高齢者への地域包括支援が大事であるが、一方、スキルを持った高齢者も多数いるので、自立している高齢者の活動の場をつくること。そして、デジタル弱者である高齢者が若い世代とコミュニケーションを積極的にとれるように、学習できる場を積極的につくっていただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各市内のコミセンでの高齢者や障害者向けのスマホ・タブレットやパソコンの学習講座を開設する。</li> <li>2. 市役所など交通の便がよく行きやすいところにス</li> </ol>	現状と課題	B	<p>具体的なお提案をありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。</p>

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			マホ、タブレットやパソコンの無料相談の窓口をつくる。			
3	5	P 5	全ての施策の企画・立案はP. 5のグラフの現状の上 に立って戦略を練ること。	現状と課題	D	たくさんのご意見をいただきありがとうございます。 地域の負担感をなくした活動に向けて、コーディネ ーターの設置も含めて検討していきます。
	6	P 7	81.8%の隣近所の付き合いの大切さと自治会・町内会 の問題は関連性はない	市民アンケ ート	C	
	7	P 1 0	65%は自治会・町内会が必要としているデータは、現 在では該当しない	市民アンケ ート	C	
	8	P 1 5	この課題は最重要！今後70代まで現役時代、少子高 齢化、活動参加策改革	市民アンケ ート	A	
	9	P 2 9	P 2 4のコミュニティ組織の定義「自分の地域は自分 の創意と努力でつくり上げる」 ここで言っている自分とは住民を指しているのか、コ ミュニティの組織を指しているのか、いずれにしても 市民に頼りにされるコミュニティ組織にするには「ヒ ト、モノ、カネ」が無くては回らない。それぞれの学 区内に於けるコミュニティの課題に優先順序を決め ての解決に行政との協働で計画しているコーディネ ーターの配置実現を切望する。	I-4-③	A	
4	1 0	P 6	内容的には「ゆるやかなネットワーク」がキーワー ドかと感じた。ただし、現状では、そのネットワークは 具現化されているとは言えないので、ネットワークの 維持ではなくて「構築」もしくは「進化」ではないで しょうか。	市民アンケ ート	C	たくさんのご意見をいただきありがとうございます。 今回の提言は検討委員会から市に向けて行うもの となっており、全体として文章の多い構成となってしま いました。今後市民の皆様にお示しするリーフレット 等については、分かりやすいものとなるよう心掛けて

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
	1 1	その他	全体構成的には文章が多いので、図表を多くしてビジュアル化した方がよい。		C	いきます。
	1 2	その他	誰に向けての提言書なのかにもよるが、一般住民（最も意識してほしい人）を対象とするならば、ボリュームがありすぎ。コミュニティ役員向けと一般向けの二種類にまとめられればと思う。		C	
	1 3	その他	他の自治体等でも同様の取組みを行っているので、参考資料のページを設け、URL等の紹介を行う。		C	
5	1 4	P 1 7	3 自治会・町内会に入らなくても困らない ①昔と違い生活が豊かになり、共助の意識が薄れてきている。 ②自治会・町内会の行事が無くなり（特に葬儀など）総会（1回/年）の引継ぎぐらいではないだろうか。	コラム	A	具体的なお提案をいただきありがとうございます。Ⅰ－2－②の中で共助の大切さの啓発、Ⅲ－3の中で、交流センターの利用しやすい環境を整えるなど提言の中で盛り込んでいます。より具体的な取組については、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
	1 5	P 2 0	3 連携や協働の仕組みが足りない 「専門的知識を持っているが、コミュニティにはそのグループがないなど」 ①交流センターの活動に協力したいが、交流センターからの何らかの協力要請があってもよい？ ②地域活性化（例：新グループ立上げなど）について交流センターと話し合いがあっても良い。	課題	B	
	1 6	P 2 1	5 活動の担い手が高齢化している 「祭りなどで手伝いをしてくれる若い世代をつくる。」 ①年金の都合で特に男性が70歳近くまで現役であ	課題	B	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			る。 ②地域行事に若手の手伝いを依頼したりすることにより、将来現役を引退したときにスムーズに交流センター、ボランティアとして活動しやすくする。			
	17	P38	交流センターが気軽に利用できない ①常に出入りしている方が人を誘ってこんな楽しいこともあるなど教える。 ②交流センターの役員他のメンバーが、地域の方が気軽に出入りできるような雰囲気づくりを常に心がける。 ③特に目的がなくても気軽に交流センターに立ち寄れるようなカフェ（コーヒーなど提供）を作ることも必要ですが、特に男性は容易に活用しないような気がする。 気長な活動が必要と感じます。	Ⅲ-3-①	B	
6	18	P18	公園で子どもたちの姿を見かける機会が少なくなりました。公園の遊具を健康遊具に変え、高齢者の利用促進に賛成です。使い方の指導を定期的にアリーナの方にしていただいたり、子どもと一緒に使えるようにすると良いと思う。	コラム	B	具体的なお提案をありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
	19	その他	交流センターのおもちゃライブラリーも手あそびやリズム体操等資格がある方（市の職員の方など）定期的にくる回数が増えれば参加しやすいのではと思う。		B	
7	20	P20	「活動に対する負担感を取り除き、ゆるやかなネット	課題	B	ご意見、ご期待を寄せていただきありがとうございます

No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
		<p>ワークを維持することで、地域全体で支え合う仕組みの構築」との提案書に示された方向性に賛同いたします。コミュニティがS46年に開始された当時の当自治会には、まだ元来の「葬儀」を求心力とした「絆」が保たれており、その地力でもってコミュニティをご支援できた時代がありました。しかし、その「絆」の核となる求心力が社会の変化とともに完全に失われ、かつ当時からの担い手層が、健康上のあるいは体力気力低下等の理由で第一線から離脱を余儀なくされ、家族の後継者（承継者）の多くは市外へ転出、残る若年層は絶対人口が少ない上に、共働き、子育て、教育等で多忙を極め、まったく余力がありません。その上コロナ感染禍により、高齢者と中年、若年層の連携、コミュニケーションにも難儀しています。今から10年後の当地区人口ピラミッドを予想、俯瞰するに、その担い手の更なる減少は避けられない見通しです。今後の自治会運営においては、限られた貴重な担い手の負荷を最大限に軽減しつつ、スリム化した最低限必要な活動だけに絞り込み、そして正会員への加入を条件とせず、会員以外の各世代層が抱える個別事情に寄り添った形で、地域全体での緩やかなつながりだけを持った広がりづくりを模索しているところです。その一方で、コロナ感染禍により、新たにアフターコロナ時代に向けた、新しい日常・生活様式に沿った自治会活動</p>			<p>す。今回の提言を基に、行動計画等を策定し、新たな時代にふさわしいコミュニティ活動を目指していきます。</p>

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			の在り方を再構築する必要があると認識しています。最新の情勢激変により発生した新課題に対する市検討委員会の今後の議論の行方に大きな関心と期待を寄せています。			
8	2 1	P 2 2 P 2 3	とてもよくまとめられてすんなりと理解できました。提言Ⅰ～Ⅲのサブタイトルがもう少しはっきりしていると分かりやすいと思います。	目指す姿と 取組の方向 性	A	ご意見をいただきありがとうございます。サブタイトルについてはサイズを見直すなど見やすく修正いたしました。防災、福祉については重要と捉えておりますので、今後策定予定の行動計画などで検討させていただきます。
	2 2	P 3 4	コミュニティ活動の原点である自治会・町内会には、防災上、福祉を考えてもとても重要であると再認識いたしました。	Ⅱ-3-①	B	
9	2 3	P 2 4	事務局機能を強化するための仕組みづくり→事務局の運営マニュアル	I-1-①	B	具体的なご提案をありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
	2 4	P 2 5	リーダーを支えるスタッフ人材の養成→研修の実施	I-1-③	A	
	2 5	P 2 6	ホームページや会報等による情報発信、それらを掲載するための地域情報等収集→地域住民間での効果的な情報共有につながる。個人情報適切な活用、効果的な情報の利活用を進める。	I-2-①	A	
	2 6	P 2 8	人材の育成 特に子どもたち（小・中・高校生）を対象に、コミュニティ（町内会）活動や地域の取組に触れる、参加してみる機会を与え、将来大きくなったとき、自らがコミュニティ（町内会）活動に参加できる動機づけが必要かと。	I-3-①	A	
	2 7	P 3 0	市職員の地域活動に対する意識向上・資質向上	I-4-④	B	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			市職員もどちらかのコミュニティ（町内会）に入っていると思います。職員の方に役員をやってとはいいませんが、イベント等には積極的に参加協力してもらうことが必要ではないかと思ひます。			
	28	P34	役員等に対する公的費用の負担 活動に応じた報酬の支払い（有償ボランティア）	Ⅱ-3-①	B	
	29	P38	災害訓練・防災訓練 「災害が無いから訓練には参加しない」ということではなく、地域の学校・企業その他の団体が協力して強制的に参加できるような行事を企画する。	Ⅲ-3-③	B	
10	30	P24	コミュニティ学区構成員：全世帯の根拠 現在に至るまでのコミュニティ推進協議会活動により、皆に受けられやすい在り方を推進してきた。その結果として 1 立ち当番のないゴミ出し 2 防犯灯の市役所管理 3 市報の全戸配布 4 避難所の全市民解放 5 全市民向け、福祉、健康づくり など、この機会に、全世帯がコミュニティ構成員であることを定義PRする。	I-1-①	B	たくさんのご意見をいただきありがとうございます。検討委員会の中でもいろいろな意見があった部分ですので、今後の参考とさせていただきます。
	31	P24	コミュニティの定義について ・ハンドブック等に全住民を対象とした公益的な活動をする。	I-1-①	B	

No.	該当ページ	内容	分野	反映状況	市の考え方	
		<p>・各学区規約（会則）等に、全学区住民で構成するに準ずれば、会員は全学区住民でなければならない。</p> <p>（提案）</p> <p>このことを明確にすることが、コミュニティの在り方の大前提である。日立市のコミュニティは、全学区住民が構成員であるということを、日立市長、日立市議会、日立市コミュニティ推進協議会が市民代表として、審議決定することにより、スタートとするのである。</p>				
	32	P29	まちづくり、定義、組織について（提案）	I-4-②	B	
			<p>1 各学区内の課題（清掃/道路管理/環境）についてのまちづくりは従来通りの各学区コミュニティ</p> <p>2 日立市内全域にわたるまちづくりについては、この機会にまちづくり推進協議会を設立する。</p> <p>構成員：市民活動各グループ代表者とする</p> <p>コミュニティ推進協議会/NPO/ボランティア/女性グループ/商工会/子ども会/スポーツ・文化少年団/民児協/その他随時登録</p>			
11	33	P24	自治会・町内会とコミ推との担当範囲が不明（理解されていない）。	I-1-①	B	<p>具体的なお提案をありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。</p>
	34	P24	交流センター（施設）・コミ推（活動体）の違いが理解されていない。	I-1-②	A	
	35	P25	新しい時代・若い人及び退職高齢男性の参加：今、知恵がない。昔にさかのぼってみては？	I-1-③	B	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			高齢者（含退職者でまだ働く意欲ある）のスキルアップ（新たな・学び直し）を行う。それにより、新しい仕事を見つけ・作り出せばより良い。			
	36	P26	役は出来る人がやればよい。出来ない人は誰が見ても判る。 単なる、ゆるいコミュニケーション、井戸端会議の情報伝達組織と考える。	I-2-①	A	
	37	P26	強制的なものせず、昔の「向こう三軒両隣」のような、地縁の困ったときに助け合える、互助組織にすればよい。退会などありえない。 隣同士で、顔も知らないなんておかしい。親睦の会を持つようにさせる。	I-2-②	A	
	38	P26	ゆるいコミュニケーションの窓口・場所として利用してもらおうように。 なんでも相談・問合せできる。特にコミ推。自治会・町内会何れでも。 市民と市の窓口は全てコミ推と。何か困ったらコミ推へ。地域の情報拠点。	I-2-③	A	
	39	P38	市民の参加意識の欠如、地域の向上、重要性・必要性、等 杓子定規に捉えてもダメ。昔の集会所・公民館の感覚（気楽に利用するところ）になっでは。	I-3-①	B	
12	40	P24	理念やあるべき姿を固定して考えると現状から変えることはとても難しくなると思います。そもそも学区コミュニティは住民によって選ばれた住民の自治組	I-1-①	C	具体的なお提案をありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて検討させていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			<p>織ではないはずである。それをあたかも行政組織の末端の自治組織のように便利に使ったので組織と仕事ありきの組織になってしまった。組織と仕事ありきのところで、ボランティアとして活動するのは体の良いただ働きである。作り上げた人たちは思い入れがあるかも知れないが、後の人にとっては役割を果たすためのただの労働である。</p>			
	4 1	P 2 4	<p>本来、住民の自主的な活動を支援するのが目的であるなら、コミュニティと交流センターという使い分けをせずに、交流センターを住民の自主的な活動を支援する拠点とし、いまコミュニティと称しているものはやめて、交流センターの運営を有償で委託する運営団体（交流センターの指定管理者）としてはどうか。その職員はもちろん有償である。</p>	I - 1 - ②	B	
	4 2	P 3 1	<p>交流センターでは、事業として市の指定事業、交流センターの自主事業、住民の自主事業を行ってはどうか。市の指定事業の実施責任元は市である。センターの自主事業はセンターが企画運営する事業で実施責任元はセンターである。住民の自主事業は住民が主体的に企画運営する事業で実施責任元は住民グループである。こうすればカフェでも居場所でも自由に事業化できる。使用頻度の少ない集会所などで巡回カフェを開催、児童公園で巡回 PLAYBUS を開催、地域のお宝さがしなどを開催すればとてもにぎやかになるだろ</p>	II - 1 - ②	B	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			<p>う。こうした事業に企画段階から住民のボランティアを募集すれば主体的な参加が実現できる。</p> <p>地域全体の事業を企画するのは大変だが、小さなところからスタートし、育てていけば意義のある事業なら自然に広がっていくだろう。センターが歌声喫茶を企画すれば参加者の募集から講師の手配まで大変であるが、住民が自主的にはじめればセンターには手間がかからない。</p> <p>小学校、中学校、高校、大学と活動と交流のはばを広げてきた若者に小学校校区に戻れと言うのがナンセンスである。広い若者のコミュニティと交流センターの地域のコミュニティとのパイプ役としてつなぐことを若者には期待したい。</p> <p>ぜひ、こうした発想の転換をはかり、住民の自主的な活動を支援することに徹してはどうか、ご検討ください。</p>			
13	43	P24	<p>基本的なことではありますが、今以上にコミュニティの存在意義の浸透を図るべきと思います。</p>	I-1-①	A	<p>ご意見をいただきありがとうございます。提言I新たな時代にふさわしいコミュニティ組織の中で盛り込まれている内容について、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。</p>
	44	P26	<p>「第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(仮称) ひたち若者ががやきプラン」とも、日本全体、県、市とも高齢化が進んでおり、すべての計画において、まず人口増、若者の増加を図ることが重要と思われます。</p> <p>コミュニティ活動については、アンケートの結果によ</p>	I-2-②	A	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			り、コミュニティ活動等の地域住民への情報発信、PRをさらに強化する。利用しやすい環境をさらに構築する。自治会、町内会の必要性、役割等についても更に強調する。			
14	45	P24	組織のあり方を抜本的に見直すべきではないか。(NPO団体などの設立をめざす)	I-1-①	C	たくさんの具体的なご提案をありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
	46	P26	市民全員がコミュニティに参加するためには、応分の負担が必要ではないか。	I-2-①	C	
	47	P26	町内会をはじめ地域皆の困りごとが相談できる仕組みづくりができないか。	I-2-③	A	
	48	P27	町内会会費や役員等の負担軽減など見直しをする。	I-2-④	A	
	49	P28	特に学校運営協議会との連携・ネットワークづくりが必要と考える(コミュニティ教育の実践)	I-3-①	A	
	50	P29	市民協働における役割・責務の明確化と条例化をすべきであり、その実行計画もつくるべきである。	I-4-①	C	
	51	P29	まちづくりコーディネーターの身分、役割の明確化が必要である。	I-4-③	A	
	52	P30	人材を集めるには行政の主導が必要である。また、支所単位(6か所)で各地区を取り纏める仕組みを作れないか。	I-4-④	B	
	53	P30	コミュニティに市職員の配置が必要である。(行政とコミュニティの認識不足の解消)	I-4-④	B	
54	P31	市から委託してる文化・体育、防災・防犯、福祉など多岐にわたる活動の整理、市とコミュニティ単会の役	II-1-①	A		

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			割分担を見直す。			
	55	P31	再生資源の片付けは、行政が有償で実施してはどうか。	Ⅱ-1-①	B	
	56	P33	コミュニティプラン作成の助成と実施時の運営体制見直し（コミュニティ単会の負担軽減と担い手）	Ⅱ-2-①	A	
	57	P36	市全体のボランティア活動におけるポイント制度の導入	Ⅲ-1-③	B	
	58	P37	SNSアプリなどを使ったネット会員によるコミュニティ活動への参画（ネット上でのプラン作成企画、運営等）	Ⅲ-2	B	
	59	P38	自主防災訓練、学校内での行事参加、再生資源回収など町内会加入者に限らず誰でも参加できる仕組みづくり。	Ⅲ-3	A	
	60	その他	コミュニティ・ビジネスの導入		B	
	61	その他	交流センター利用の有料化とサービス向上をセットで行う		C	
	62	その他	住民税（コミュニティ税）を納入しサービスを受ける（市民全員がコミュニティに加入する）		C	
15	63	P24	この提言書（素案）は、かなり良くまとまっています。関係者の方々に感謝申し上げたい。特に以下の意見を申し上げます。 コミュニティ推進会組織と交流センター組織とが完全に一体化していない部分もあるので、一体化組織も要検討と思います。	I-1-②	B	ご意見、ご期待を寄せていただきありがとうございます。今回の提言を基に、よりよい行動計画を策定できるよう努力していきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			地域の方は交流センターとコミュニティ推進会との区別が分からない人がほとんどです。			
	64	P25	現在のコミュニティ活動は、高齢者が主となって組織化されているところが多いが、若者へのバトンタッチが難しい。	I-1-③	A	
	65	P26	自治会・町内会に進んで入会してもらう手段として「チラシ・パンフレットなどによるつながりを啓発する」とありますが、もっと良い方法を見つけないか。	I-2-②	B	
16	66	P24	コミュニティ活動 PR 会の定期開催（自治会役員以外も募集する）コミセン、コミ推、交流センターの区別も分からなかった。	I-1-②	B	たくさんの具体的なご提案をありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
	67	P25	各自治会から専門部に派遣される人たちは持ち回りで1年限り→2名2年にしてもらい2人の時期をずらす。	I-1-③	C	
	68	P25	15～20年後を想定すると2軒に1軒は一人暮らしになると思われる。市の債務も増え、サービス低下は必須。今のうちに体が動く団塊の世代を活用しコミュニティの大切さを考えてもらう。例、弁当代1000円で社会奉仕活動、小中学生向けの塾講師、高校生を先生にした老人向けスマートフォン教室、主婦を先生にした一人暮らしを生き抜く生活術などはどうか？	I-1-③	B	
	69	その他	金沢学区は高所、低所に分かれ移動が面倒、金沢幼稚園の跡地をサテライトとして上手な利用法を考える。下台原信号付近の空地进行を地主さんの許可を得て借用		D	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			できれば何が出来るか考える。			
17	70	P24	<p>提言書（素案）は分かりやすくまとめられており、コミュニティ活動を取り巻く現状と課題が良く理解できた。記載されている内容についてはその通りであり、コミュニティ活動に携わっている一人として考えさせられる問題である。</p> <p>提言Ⅰ「新たな時代にふさわしいコミュニティ組織」市民に頼りにされるコミュニティ組織づくりの取組の方向性に「交流センターがコミュニティ活動の拠点である」というこの取組は斬新的な考えであり、取組方向性は非常に良いことであると思う。現状では従来の公民館の形態（運営・運用）が交流センター（地域で運用）に変わっただけに思う。確かに交流センターの運営委員長は学区コミ進の会長であるが、事務長以下は協力員として交流センターの運営・運用に携わっているだけであり、コミュニティ活動を考えた組織ではない。大幅な組織改革であるように思われる。</p>	I-1-②	A	ご意見をいただきありがとうございます。今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
	71	P37	<p>提言Ⅲの市民意識の醸成であるが、その中の若者との共創で3つの項目が挙げられてある。それぞれもつともであり、理想的であるが、現実離れしている気がする。23の各施設の規模、形態等が統一されていない現状での実現は難しいのではないか。学校の休日にロビーにてゲーム等をやりに来るくらいである。</p>	Ⅲ-2	B	
18	72	P24	現在の小学校区にある交流センターがコミュニティ	I-1-②	A	たくさんのご意見をいただきありがとうございます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			活動の拠点施設として機能するための運営を今後は強化しなければならない。 住民に対して交流センターの存在を知ってもらう。			今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
	73	P29	地域住民の相談窓口として機能強化を図り、専門知識を修得する研修・教育を推進し、市の職員等の派遣や、行政への取り次ぎ（コーディネーター）を育てる。そのためには専門分野である、防災・防犯・福祉活動には有償とし、幅広い知識を持って、住民の相談に対応できるようにしていかなければならない。	I-4-③	A	
	74	P37	特定の人たちの利用を目的とするのではなく、住民が特に若者たちが気軽に立ち寄れるオープンスペース等を併設する環境が必要である。	Ⅲ-2-①	A	
19	75	P24	交流センターを利用したことがない方も多いのでセンターの活動内容（特に高齢者の見守りについて）などを何度も何度もお知らせしてほしい。	I-1-②	A	たくさんのご意見をいただきありがとうございます。I-1-②、Ⅲ-3-②の内容含め、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
	76	P26	仕事をしている女性にとって仕事、家事、育児、介護などを両立するだけで精一杯、地域に協力できない時期があることも考慮してほしい。	I-2-①	B	
	77	P38	「遠くの親戚より近くの他人」将来孤独死しないように近隣の方と仲良くしていきたいと思う。	Ⅲ-3-②	A	
20	78	P25	各地区ともコミュニティに係わる人材が高齢化して、現状を維持することが難しくなっていることが問題で、核になる人材（各地区及び各地区全体をまとめる人材）を公募でもよいので、取り込むことが肝要と思	I-1-③	B	ご意見をいただきありがとうございます。担い手の確保については、全国的に見ても重要な課題となっています。検討委員会の中でもいろいろな意見があった部分でもありますので、今後の参考とさせていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			われる。			す。
	79	P29	現状、コミュニティ活動（主に各学区コミュニティ推進会による活動）は、形は自主活動を尊重し、市（行政）がサポートする仕組みになっているが、実際は丸投げに近い。各種の問題はあるが、やはり専門知識を有する者が各コミュニティを運営する方が必要と思われる。そのためには市職員を各コミュニティに有期（3～5年程度）で派遣し、各地区の現状を把握して、横並びで出来るものは横並びでし、各地区独自のものはそれを生かすことが必要と思われる。	I-4-①	C	
21	80	P25	コミュニティの担い手の若返り、PTA役員等からの「つながり」を求める。	I-1-③	A	たくさんの具体的なお提案をありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
	81	P28	地域の歴史を学ぶ場を増やす。	I-3-①	A	
	82	P29	交流センターへの期待が多いことを思うと（仮称）まちづくりコーディネーターの配置を学区ごと又は2～3学区に1人の配置を急いでほしい。	I-4-③	A	
	83	P30	市職員のコミュニティ活動への意識高揚、特に定年後の活動参加	I-4-④	B	
	84	P32	そもそも「コミュニティ活動」とは何かを理解されていない方がいる。	II-1-③	A	
	85	P34	防災や福祉など専門性の高い活動を有償化すること賛成	II-3-①	A	
	86	その他	交流センター委員長、地区社協の会長は活動できる日数と手当を高くする。		C	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
22	87	P25	「コミュニティ推進会」と「交流センター運営委員会」との二つの顔を持つ職場ですが、そのほとんどが会長と委員長、事務局長と事務長を兼務しているのが実情です。高齢化及び健康問題で勤務が難しくなった場合、後任者を選定するのが困難であることは事実です。できれば毎年の市役所退職者の中から「コミュニティ推進会」「交流センター運営委員会」での勤務紹介をお願いいただけないかと考えます。	I-1-③	C	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
23	88	P25	コミュニティ活動の担い手が高齢化し、活動に大きな影響を及ぼしてきています。地域で何とか対応しようとしていますが厳しい状況です。対策として、市職員が定年を迎えるとき、退職後5年程度の期間、地域のコミュニティ活動に参加するような「きまり」を設けることはできないでしょうか。	I-1-③	C	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
24	89	P25	コミュニティ組織の役員の選考基準や任期を定めるのはよい提案だと思いました。	I-1-③	A	ご意見をいただきありがとうございます。I-1-③の内容含め、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
	90	その他	交流センターの指定管理者は公募と条例に定められていますが、学区コミュニティ推進会が自動的にその指定を受けているのですか？自治会などの代表者による団体が指定管理者となることは、理にかなっていると思いますが、交流センターの利用規則などを見ると、不公平なルールが存在しているように思いました。自治体も人員削減を頑張っているのですが、地縁団体は行政組織ではないのですから、境界が曖昧		D	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			になるのは仕方ないですが、必要な仕事は人任せにせず市の職員に担ってもらいたいです。			
25	91	P25	P4④の学校再編計画との関連は、コミュニティと行政（行政内の横の連携も）ばかりでなく広く関係機関と連携し、着実に進めてほしい。	I-1-④	B	ご意見をいただきありがとうございます。今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
	92	P26	町内会・自治会、コミュニティばかりでなく、子ども会や各種ボランティア団体、任意加入団体等への参加や加入がマイナスになる中、コミュニティを中心に活性化の道を探ることは大切。一方で、不参加や未加入の方々は、シニア世代も含め、その団体への参加に“メリット”を求め、それがないと参加しないという声を多く聞く、その辺りの打開策を更に深めるのも、一つの視点ではないか。	I-2-②	B	
	93	P34	ボランティアの有償化 賛成	II-3-①	A	
	94	P37	“若者”という言葉に違和感 → 別な表現(ことば) それこそ若者世代がピンとくることばにできないか	III-2	C	
26	95	P26	赤十字や赤い羽根募金等の寄附金納入方法を改善する。町内会脱退の要因の一つになっている。老人が銀行へ出向いて手続きをして、各家庭へ領収書を持参する等の行いは非常に困難である。	I-2-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
	96	P28	市内の企業へ社員のコミュニティ活動やボランティアへの参加しやすい風土を作ることを要請する。有給休暇制度化や、ボランティア休暇等の新設等。	I-3-②	C	
	97	P32	若い世代のコミュニティ参加意識を高めるために企	II-1-③	B	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			画・検討段階から参画してもらう。現状はアンケートで考えを拾っているが、その検討には若い世代が少ない。			
27	98	P26	提言Ⅰの2「自治会・町内会との支え合い」について、高齢化した世帯主や共稼ぎの世帯が町内会長をするときに特に重要なことだと思うし、そういう世帯がますます増加しているのが現状である。ついでに、コミュニティ活動の中で町内会長に負担をかけている「市報配布」「募金等、集金に絡む町内取り纏め業務」「行事・イベントへの参加」「会費の徴収」などを無くす方向で、コミュニティのあり方・運営方法・財務の自主化などを見直し改善していただきたい。ただし、環境美化、防災訓練、近隣見回りなど「向こう三軒両隣」ということで町内会維持の観点からも重要であると思うので継続してほしい。	I-2-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
28	99	P26	コミュニティ活動の課題が出されているが、それとの「検討委員会からの3つの提言」とのリンクが弱すぎると思います。例えば、「自治会・町内会活動に負担を感じている」課題に対しどんな提言がされているのかをみると、負担感がないゆるやかな～必要な支援を行うとあるが、具体策としては情報発信やコピー機の貸出し、市や交流センターの事務的支援が読み取れる程度。「役員になること」「会費の徴収」資料作成の労力・企画の苦労などの負担に対しての方向性がないよう	I-2-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			に見えます。1つの課題に対し、正面から向き合った 分かりやすい提言にしてほしい。			
29	100	P26	全世帯に回覧を配る。 (常会未加入世帯含む)	I-2-②	A	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言 では個別の具体策については、明示はしてはおりませ んが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討 させていただきます。
	101	P37	オープンスペースを早急に造り、自由に予約なしでも 利用出来る環境作り。	Ⅲ-2-①	A	
	102	P38	高齢化により、認知症・運動不足解消の為に現在利用 団体の使用が、月2回であるが、週1回にし、利用頻 度を多くし、上記を解消する。	Ⅲ-3-①	B	
30	103	P26	常会回覧は2世帯同居の場合…親が主になるため子 世帯は自治会行事に無関心(回覧は見ない) 親も内容を理解しない…スルーが多い	I-2-②	B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言 では個別の具体策については、明示はしてはおりませ んが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討 させていただきます。
	104	P27	自治会(常会)対策 ・本部事務専門者導入(有料…住人負担)月2～3日 ・募金等まとめ…銀行関係(入金・出金) ・その他事務一式	I-2-④	B	
	105	P37	交流センター利用者(特に小・中・高生)に対しての アンケート実施 ・センターに来る目的・来る時間、曜日・何をしてほ しいか(要望)	Ⅲ-2-②	B	
	106	その他	交流センターの専門部もシェア出来ることはシェア した方がよいのでは!		C	
31	107	P26	今の世の中は、メリットがないと町内会に加入しない など、利益を求める風潮がある。全ては行政に任せれ	I-2-②	A	たくさんのご意見をいただきありがとうございます。 Ⅲ-2若者世代との共創を若者や「子育て世代」との

No.	該当ページ	内容	分野	反映状況	市の考え方	
		ばいいと、言ったような考え方の人も増えて来ていると感じます。自分の住んでいる身近な場所は、自分たちで良くしようとする考えは、今も昔も同じだと思います。自治会に限らず、子ども会も同じように感じます。学区よっての温度差も大きく感じてるので、どこも同じようにする事は難しく思います。			共創と修正させていただきました。I-2-②の取組など、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。	
108	P34	有償化の意見もありましたが、有償で受けるとさらに責任が大きくなり、受けたくない人も多くなるようにも感じます。	II-3-①	B		
109	P37	若者にも使い易い環境整備も反対ではないですが、自分が若かった時には、コミュニティ行事にそれほど多く関わってなかったと思います。 どちらかと言うと、子育て世代が気軽に使えるコミュニティになるといいと思います。	III-2-①	A		
32	110	P27	自治会、町内会の未加入問題の根本には様々な要因があり、解決するにはお互いの理解と時間が必要であることも誰もが分かると思われる。 様々な要因の中から一例をあげてみる。 自治会ができて何十年とたっている自治会も多く見られ、その会則は自治会発足時のままで、多少の変更が加えられたものが多く、規則の中は皆さんが若く、これから自治会活動を盛り上げようとしているものが多い。役割も、みんなで同じように順番に担当しようとなっている。発足当時から、何十年もたってそれ	I-2-④	B	ご意見をいただきありがとうございます。今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			それぞれの世帯の事情も変わってくる。それに対応した、悪平等を排した、個々の世帯にやさしい対応のできる規則を作るような事例なども提示できればと思われる。			
33	111	P27	支部役員の高齢化対応 地域の役員になると総会の資料を作成しなければならないため、役員になりたがらない。少しでも交流センターで支部役員の資料作成等の助成ができるようにする。	I-2-④	A	ご意見をいただきありがとうございます。I-2-④の内容含め、今後策定予定の行動計画などでもさらなる検討をさせていただきます。
	112	P37	スマホ、パソコンから学区内及び学区外交流センターの施設利用の予約が出来るようにシステムを構築する。システム作成は、高度な専門知識及びスキルが必要なのでコミュニティ推進協議会あるいは市役所で人材を揃える。	III-2-②	B	
	113	P38	交流センターのグローバル化 現在の交流センターの利用者は、ほとんどが学区内の特定の人および限られた人しか利用されていない。今後の交流センターは、利用しやすい、入りやすい交流センターにするには、学区枠を超えて交流センターを利用できるようなシステムにする。 各交流センターのサークル活動内容紹介することにより、入りやすい交流センターを目指す。(自学区内の交流センターのサークル活動にないので、他の交流センターのサークル活動に参加したい場合利用等)	III-3-①	B	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			施設利用時間を4時間から2時間単位に変更して、利用時間の選択肢を増やす。			
34	114	P27	資料作成、コピー機の無償貸与について、誰に相談すればいい。また、刈払機の無償貸与には(市)開催する講習会終了者でなければ使用できないのでは?年6回(1回/2ヶ月)の計画をし、「受講終了証」を持って貸与するようにしては? 自前で持っている人にも講習会の機会等無償にて作業人口増図ってはどうか。 その他安全に作業するための講習会の開催を計画しては?(チェーンソー等) ※講習会を自治会・町内会に行き実施計画も手では	I-2-④	B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
35	115	P28	子どもたち、子育て世代の方に親子で気軽に楽しく参加できるボランティア、例えばクリーンデイや公園清掃等、参加者にはなにか楽しいおやつ等を用意したらどうか。若い子育て世代の方の力はとても重要ですし、子どももそういった経験、親の姿が自分大人になったときに自然にコミュニティに参加することにつながっていくと思います。(学校等でボランティア募集のチラシを配ってもらう、ボランティアの表彰してもらったりはできないか)	I-3-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
36	116	P28	小学生や中学生に対してコミュニティの活動や地域との関わり方を知ってもらうことも必要では?(家に帰り家族での話に交流センターやコミュニティのこ	I-3-①	A	ご意見をいただきありがとうございます。I-3-①の取組みなど、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			とが話題になれば)			
	117	P35	高校生や大学生などボランティアでの協力をいただけるなら日立のコミュニティのあり方を知ってもらうことも可能。 茨城県内あるいは県外で同じような問題に取り組んでいる自治体はあるのでしょうか。	Ⅲ-1-②	C	
37	118	P28	「各種団体との協力体制の構築」とありますが、「日立市とNPO、ボランティア団体等との協働」の在り方が明確にされていない中、「日立市とコミュニティの協働」の在り方だけを考えていくのは無理があるかと思えます。 実際に、コミュニティ団体がNPO法人格を取得しているところもあります。 これからは「市民」ととらえ、いわゆる「市民活動団体」ととらえなければならない時期に来ているのかとも思われます。 本来は、「市民と行政の協働」が目指すべき方向であり、その中で「コミュニティ団体」、「NPO法人等」、「行政」の在り方や役割を整理していけばいいのかと思えます。	I-3-②	B	たくさんのご意見をいただきありがとうございます。今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
	119	P29	日立市は、「市民との協働」についてどのように考えているのでしょうか？ これが明文化されていないので、総花的でわかりづらいです。	I-4-①	B	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			もし、明文化されているものがありましたらお教えください。			
	120	P38	交流センターについて 「交流センターは、コミュニティ活動の拠点」とありますが、誰が使えるのか、何をしていれば使えるのか明確ではありません。 当法人は、地元の人が優先ということで許可してもらえなかった経緯が一度ならずあります。	Ⅲ-3-③	B	
38	121	P29	つなぐとは孤立化、孤独死の防止であり、自助、共助、公助の最終点に市があります。隣近所→コミュニティ→市窓口の先が繋がらなくては、何の意味もありません。担当課が違う、扱う内容が違っているので動けない、果ては日立市には今のところ対処できる課はありません。軽くあしらわれて放り出される案件がどれほどあるかご存知ですか。市は仕組みを作るだけ、あとは社協に任せていますとも言われました。今後ますます、コミュニティセンターが防災・福祉の窓口として重要になっていくとしたら、市が責任をもってコーディネートせずに、誰がそれをするのですか。市全体でこれまでのやり方を改めてください。“つなぐ”これを市役所内部で真剣に行動してください。市役所内部でのこの作業ができなければ、コミュニティ活動での行政の役割はありません。	I-4-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。I-4-①市との協働体制の強化なども踏まえ、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
39	122	P29	地域連絡員（仮称）制度の導入の提案	I-4-③	B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言

No.	該当ページ	内容	分野	反映状況	市の考え方	
		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と市役所の間に入って、両方向の声をつなぎ、連携して対処する制度</li> <li>・(市)の特別公務員として処遇…(市)からの任用制、有償性など</li> <li>・学区内を区割りして配置…民生委員の区割りと同一とする。コミ推の委員を兼務する。</li> <li>・コミ推内に地域推進員を取りまとめる委員長を置く。委員長は市役所職員(例、定年再雇用者)又はOBが当たる。かつ、コミ推事務長・副会長を兼務するのがベター。</li> </ul>			では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。	
40	123	P29	<p>・「市との協働体制の強化」について</p> <p>→「まちづくりコーディネーター」はとても良い案だと思った。コミュニティを支える人の高齢化が問題で、もっと若い世代に引き継ぐとしても、引き継がれる側は何かからどうすればいいのかわからない人が多いと思うので、助言してくれる存在はありがたいと思う。</p>	I-4-③	B	たくさんのご意見をいただきありがとうございます。Ⅲ-2-①を顔が見える関係づくりのきっかけと修正させていただきました。今後策定予定の行動計画などでもさらなる検討をさせていただきます。
	124	P36	<p>「新たな活動機会の創出」について</p> <p>→地域活動ポイントが非常に面白いと思った。他で実施している自治体があるのでしょうか？</p>	Ⅲ-1-③	B	
	125	P37	<p>「若者との共創」「顔が見える関係づくり」について</p> <p>→交流センターにオープンスペースを設置する案が良いと思った。若者が集まりやすい場所を考えると、</p>	Ⅲ-2-①	A	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			カフェまでは導入する必要はまだないのかなと個人的には思い、やはり Wi-Fi が整備されていたり、ふらっと立ち寄れる場所であることが望ましいと思う。勉強スペースというのも良いと思ったが、物理的には人は集まるものの、「顔が見える関係」にはなりにくいのかなとも思った。			
4 1	1 2 6	P 3 0	<p>市との協働体制の強化を推進する。</p> <p>1 市職員が積極的に地域活動に関わることが必要である。</p> <p>2 現在、文化祭に派遣されている職員は立派に活躍している。</p> <p>3 市職員は地域行政に熟知しているので、活用すべきである。</p> <p>4 一般社会人は地域社会との関わり方が無知である。</p> <p>5 地域在住職員はコミ推活動に尽力する立場とする。</p> <p>6 市職員をコミ推に期限付きで派遣して指導者とする。</p> <p>7 コミ推会長には市から有能な人材の情報を提供する</p> <p>8 市職員の定年後にはコミ推職員就任を期限付きで義務化する。</p>	I - 4 - ④	C	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
4 2	1 2 7	P 3 0	地域に根付いたコミュニティ活動を行うには現状では大変難しく思う。市職員が自分の住む地域のコミュニティ活動に積極的に参加し、地域を引っばっていく	I - 4 - ④	C	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討

No.	該当ページ	内容	分野	反映状況	市の考え方
		役割になってもらいたいと思う。			させていただきます。
43	128	P30 コミュニティ発足時「行政は側面からの援助に徹すべき」との意見が有力であった。しかし、時代の推移に伴い、それでは現状に対処しきれなくなっている。そこで市はもう一步踏み込んだ関与（財政支援+人的支援）をすべきではないかと考える。ついては、次のことの検討をお願いしたい。 1 地域担当者（各コミュニティ1名以上）の設置 ※地区担当者のなすべきことは、行政とコミュニティをつなぐことではなく、コミュニティボランティアの発掘・勧誘である。 2 市職員（OBを含む）のコミュニティボランティア登録制度の創設 ※市は、コミュニティの要請に応じて斡旋する。 以上につき、コミュニティ推進会長各位の意見を求められてはいかがか。	I-4-④	C	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
44	129	P30 常任委員が高齢化している。勧誘もままならない。一案として、県及び市のOBは進んで常任委員となるように働きかけられないものか（県民市民のためとなる仕事を生業としてきたのであるから）家庭の事情とか健康上の事情もあるので出来る範囲で。 各委員会の委員長、副委員長は市の職員が担当してはどうか。（ボランティアの方が委員長、副委員長をするのはボランティアの域を超えていると思います）	I-4-④	C	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
45	130	P30	市民のコミュニティ活動なのであるから、役所との連携は密にしてほしいと思う。関わりがない部署の人でも一通りのことを研修等で学ぶなど、全役所所員が基礎的な知識を持っていて欲しいと思う。それによって連携できることが新たに見えてくるのではないかと思う。	I-4-④	A	たくさんのご意見をいただきありがとうございます。市職員の理解促進や積極的な情報発信については、I-4-④やII-1-③などに盛り込ませていただいています。「若者の地域への関心」については、ご意見いただいたように、アクセス方法が分からないと言った方がたくさんいることも理解しております。しかしながら、そういった方たちは自身が自治会・町内会に加入していないことは分かっているはずであり、加入しているかどうか分からないという回答が多かったことから、表記させていただきました。そういった情報発信についても、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
	131	P32	P8で「若者の地域への関心が低いことが伺えます」と記載されているが、転居先の自治会にどういった方法で加入するのかが誰からも教えられていない事項であり、実家では加入していたが1人暮らしを始めてからしていないという人も多いはず。転入してきたところで自治会への加入方法を細かく表記されたものを渡されることもなかったもので、一概に全て関心がないで片付けられるのは納得いかないという気持ちになった。関心はあってもアクセス方法がわからないという話を大学時代はよく聞いていた。どこに聞けばいいのかわからず、また地域の交流センターには入り辛さを感じていたので結局放置している人が多数ではあった。若者世代の怠慢ではあるが、大人の責任でもあると思うので全てを我々若者世代の過失のような書き方はやめてほしい。	II-1-③	A	
	132	P36	ポイント制の導入を具体的にどのようにやる予定なのかわからないので見間違いかもしれないが、地域の活動がポイント制になるというのは違和感を感じ	III-1-③	B	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			た。			
46	133	P32	町内会には加入していますが、コミュニティ組織、交流センターの存在含め、身近に感じず、必要性をいまひとつ感じません。 時代の流れもあり、なかなか難しいと思いますが、活用方法、使い勝手など、必要性を含め広く周知し、興味を持てるようなれば変わる気になるかと思います。	Ⅱ-1-③	A	ご意見をいただきありがとうございます。Ⅱ-1-③の取組など活動の見える化を図り、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
47	134	P32	町内会などがほとんどない現在では、コミュニティ活動への参加方法が若い世代（特に就学前の子育て世代）には分かりづらく参加するのはハードルが高いと思います。若い子育て世代を対象としたイベントなどをたくさん開催してコミュニティとのつながりを作っていくとコミュニティの活動にも参加しやすくなると思います。	Ⅱ-1-③	A	ご意見をいただきありがとうございます。Ⅲ-2若者世代との共創を若者や「子育て世代」との共創と修正させていただきました。今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
48	135	P25	提言の中にはジェンダー視点がないように思われます。女性をコミュニティ組織に積極的に参加してもらうためには何をしたらよいかの提言を望みます。また、組織ではなく、活動に積極的に参加してもらう提言も。	I-1-③	A	たくさんのご意見をいただきありがとうございます。I-1-③の必要な取組を「性別や年代に偏りがないように活動メンバーの拡大を図る」という表現に修正させていただきました。地域特性などについては、検討委員会の中でもいろいろな意見があった部分ですので、今後の参考とさせていただきます。
	136	P37	Wi-fi など交流センターの充実には賛成です。	Ⅲ-2-③	A	
	137	その他	地域の特性に応じた提言も。お店や事業者の多い地域、団地が主な地域、農家が中心の地域など地域の特性に応じたコミュニティ活動の在り方の提言を望みます。	Ⅱ-1-②	C	

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
49	138	P32	現状の把握と課題の分析までは理解できますが、提言についてはピンときません。コミュニティという言葉の本当の意味をみんなが実感を持てるように示されなければ、伝わらないのかと思います。※コミュニティ活動の在り方検討委員会の存在も知りませんでした、すみません。	Ⅱ-1-③	A	ご意見をいただきありがとうございます。コミュニティ活動が市民に理解されるよう、積極的な情報発信について、今後策定予定の行動計画などでもさらなる検討をさせていただきます。
	139	P38	コミュニティ活動の拠点といわれている交流センターが一部の人たちのものになっているとしか感じられないのが現状です。	Ⅲ-3-①	B	
50	140	P33	町内会・子ども会等が負担を感じて解散していることを聞きますとちょっと寂しい気がします。幸い私どもの町内。子ども会は存続しております。それでも町内会があっても高齢のため1人、2人と抜けていく人もいるのが現状です。コミュニティの活動は昔から見ると少しずつ浸透してきているように思えますが、まだまだですね。 各学区にある交流センターでニュースポーツの大会等を開催してはどうでしょうか。ニュースポーツを利用する人もほとんどいなくてもったいないと思います。子どもから高齢者の幅広い世代が集まって交流するのも楽しいと思います。	Ⅱ-2-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
51	141	P34	社会福祉対応としても有償化されていない現状からは、専門性が保証されていない。現に自治会を抜ける人たちは即時福祉の対象者となることを意識された	Ⅱ-3-①	C	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討

No.	該当ページ	内容	分野	反映状況	市の考え方
		い。			させていただきます。
142	その他	集合するには自分の関心ごとが基準になると思われるので、地域の研究者やマニアを講師にした講座等で空白時間を有意義な時間に変えるアイデアが使えればいいと思う。		C	
143	その他	社会教育的視点が欠落しており、住民の自治に対する意識付けに欠けており、よって地方自治の観点からは無策なり。		C	
52	144	P35 誰もが気軽にコミュニティ活動に参加できるように考えてほしい。 交流センターに世代問わず集まれるイベントなど行ってほしい。	Ⅲ-1-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。Ⅲ-1-①の取組など、気軽に参加できる環境づくりに向け、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
53	145	P35 金沢学区においては少子高齢化により高齢者層と若者層との世代間の割合が高齢者へ大きく傾いている。若者世代は町内会・自治会には入りません。それは市からの子育て、ごみ・再生資源・粗大ごみ等の回収情報はスマホで調べられるからです。要は若い世代は情報デジタル世代で町内会・自治会を必要と感じていない。 一方高齢者のアナログ世代は市報などの配布物で情報を得ている。世代間での情報格差を生じている。地域の最も身近な共助の仕組みの町内会・自治会を残したい。世代間の問題をコミュニティがどのように吸い上げて若者たちがコミュニティ中へ入り、中心となっ	Ⅲ-1-②	A	ご意見をいただきありがとうございます。Ⅲ-1-②の取組など、積極的な情報発信のため、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			て活躍してもらえよう若者へコミュニティの活動状況を配信方法の改革が必要です。			
54	146	P35	「コミュニティ活動に参加しなかった理由」→「活動の内容や参加方法が分からないから」23.2%が多かった。このことはもっとPR方法を検討すれば参画しても良いと思う人がいると思います。→広報紙だけでなく、SNSの活用とか。	Ⅲ-1-②	A	ご意見をいただきありがとうございます。Ⅲ-1-②の取組など、積極的な情報発信のため、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
	147	P37	「交流センターの利用について」→「気軽に立ち寄れるオープンスペースが欲しい」 →現状の交流センターは駐車スペースや利用部屋数が少ないことが多いと思います。 →小中学校の空き教室の利用や閉園幼稚園の活用など試験運用してみてもどうでしょうか。	Ⅲ-2-①	C	
55	148	P36	提言書の素案を読ませていただきました。 コミュニティ活動が非常に多岐に渡る深い問題だと認識させられました。 その中で、地域アプリポイントの考え方が非常に面白いと思いましたので、私の意見を散文ながらまとめます。  地域アプリポイントはコミュニティ活動をした上で得られるポイントだと思いますが、より発展的に私は「地域限定仮想通貨」とコミュニティ活動を結びつけてはどうかと思います。	Ⅲ-1-③	B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			<p>私が考える仮想通貨は現金と同じ使い方を想定しており、手に入る仕組みはアプリポイントと一緒にコミュニティ活動に参加した方々に与えられるものとなります。しかし使い途については、より踏み込んで行政が指定したお店だけで使用するといった仕組みではなく、市民も使い途を考えることのできる仕組みも有るかと思います。（例えば近所の方に子どもの世話をお願いするときに通貨をもってお願いし、その通貨をもらった近所の方はお店など色々な機会で見える、通貨はもちろん換金もできる）誰かに何かをしてもらうという行為には報償がつきものと考えており、ボランティアの精神はできる人だけで行っていたら、多くの人をコミュニティ活動等に取り込むにはやはり有償有りきかだと思います。（ボランティアの精神の醸成には若い頃の刷り込みが必要かだと思います。）</p> <p>話は戻りますが、地域限定仮想通貨の導入により、地域振興や地域との交流の糸口になるのではないかと思います。</p> <p>実現できるかどうかについては論じておらず無責任ではありますが私の意見とさせていただきます。</p>			
56	149	P36	<p>現在のコミュニティ活動にもいろいろな機会はあるのですが、より具体的に、より細分化した活動を提示して、これなら参加できそうだと思う活動を積み重ね、できれば、参加ポイントとして積み重ねが分かる</p>	Ⅲ-1-③	A	<p>たくさんのご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>Ⅲ-1-③の取組やⅢ-3-②の取組など今後策定予定の行動計画などでもさらなる検討をさせていただきます。</p>

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
	150	P38	<p>ような仕組みがあるとよいと思います。</p> <p>20年ぐらい前までは、冠婚葬祭などでも地域との結びつきは強かったですが、今は隣近所の方でもほとんど話すこともなく生活しています。何か目的を持って集まる場や機会がないと、「つながら」ないままの状態が続いてしまい、高齢になりいよいよ自分一人（又は二人）での生活が不自由になりあわててしまうことになりかねません。</p> <p>そのためにそれぞれの世代でできること（地域の人を手助けする、仲間との触れ合いを楽しむ、地域の環境を良くする）を、1つでも2つでも若いうちから実践していくことが大事だと思います。</p>	Ⅲ-3-②	A	
57	151	P37	<p>今回のアンケートと検討委員会の提言書（素案）を読んで今後のコミュニティ活動の方向性が良く理解できました。</p> <p>これらをどのように実行していくかが大切だと考えます。時代の経過とともにコミュニティ活動も変化させることが必要ですので引き続き意識調査とともに検討を続けていただきたいと思います。</p> <p>これからの人口の減少を考えると、コミュニティ活動に対して効率化が求められますので政府の進めているデジタル省新設をにらんで、デジタル化対応も必要と思います。</p> <p>提言の中でも触れられていますがインターネット環</p>	Ⅲ-2	B	<p>ご意見をいただきありがとうございます。Ⅲ-2の取組など理解を深めていく方法について、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。</p>

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			境を整備して情報の発信と活動の効率化を図ることが活動への理解が得られると思います。また、交流センターの使用と活動への参加では①オープンスペース確保②カフェなどの飲食できるスペースの設置③予約なしでも使える交流センターを通して理解を広めていくことが可能になると思います。			
58	152	P37	<p>2.若者との共創</p> <p>「交流センター内に若者たちが勉強や読書、ゲームなどで憩えるオープンスペース」とありますが『ゲーム』とはボードゲームの事なんでしょうか？</p> <p>コミュニケーションツール、アイスブレイクのツールとしてボードゲームをオープンペースに置いてみてはどうでしょうか？</p> <p>若者の同士の交流を促す為にオープンスペースにボードゲームを置く事を提案します。</p> <p>銀座通りに「ひたちマチラボ idea」という高校生を中心とした拠点があるのですが、そこに集う高校生達がアイスブレイクとして、ボードゲームを活用していました。</p> <p>ボードゲームだけでなく、若者同士の交流を促す仕組み作りは必要だと思います。</p> <p>提案について検討していただけたら幸いです。</p>	Ⅲ-2-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
59	153	P37	小中（高）生まではコミセン利用をしている。それ以上の年代の「若者」になると、なぜ敷居が高くなって	Ⅲ-2-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませ

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			しまうのか。コミュニティ活動＝面倒くさいとにならないためには、若者世代のひとつ前の世代から変えていく。子ども会後の年代（中高生）を対象にした取組み、勉強スペース、ボランティアで勉強を教えるなど、地域の人との関わり「大人」「高齢者」との交流が少ない現状を変える方法を探す。			んが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
60	154	P37	今の交流センターは、自主グループが場所を借り利用するための施設が前面に出ているし、部屋の作りもそうになっているためオープンスペースや、誰もが気軽に出入りするためには、どうしたらよいか、何があれば利用しやすいのか考えていく必要があると思います。	Ⅲ-2-①	B	たくさんのご意見をいただきありがとうございます。交流センターの利用しやすい環境を整えることや、災害に備える活動など、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
	155	P38	防災、防犯、福祉、子どもの見守りなど、それぞれのコミュニティが住民に働きかけていくことが大切だと思います。災害が起きた時にどうするか、具体的なところから組織を作りましようにならないと単に自治会・町内会を作る、入るにはいかないかと思います。	Ⅲ-3-③	A	
61	156	P38	交流センターがもっと気軽に立ち寄ることができ、自動販売機やイスやテーブルがあり、トイレも借りることが出来るような場所になると良いと思います。交流センターが土・日・祝日も開館していて、夜21時まで管理する人が居るということを知らない人が多いです。日立市内の交流センターの場所や他の地域の人でも使用して良いなど、公共施設としていつも利用している人以外の方にも知ってほしいと思います。	Ⅲ-3-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。交流センターの利用しやすい環境を整えるなど、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
62	157	P38	交流センターを借りようとしたのですが「組織の名前から判断してお貸しすることはできません」と断られました。私たちは暴力団など反社会的集団ではありません。なぜ借りられないのでしょうか？どのような基準で貸したり貸さなかったりが決められるのでしょうか？ このように断られるなら、もう交流センターは利用したくありません。	Ⅲ-3-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。交流センターの利用しやすい環境を整えるなど、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
63	158	P38	交流センターなどの活用が若い世代の利用がない様に思えます。もっと多くの子育て世代に利用していただけるイベントなど考えていただきたいです。例えば月1回のカフェやフリーマーケットなどのイベントを開催すると交流センターに多くの人が集まるのではないのでしょうか。	Ⅲ-3-①	A	ご意見をいただきありがとうございます。Ⅲ-2若者世代との共創を若者や「子育て世代」との共創と修正させていただきました。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
64	159	P38	コミュニティ活動の拠点である交流センターをあらゆる手段で広報して、年代を問わず、気楽に利用できるようにしていただきたい。(例、市報に特別コーナーを設けて交流センターの認知度を上げる)	Ⅲ-3-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。交流センターの利用しやすい環境を整えるなど、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
65	160	P38	取組 交流センターの利用方法を統一する。 ↓ 23の交流センターの立地、部屋数、利用者がそれぞれ異なるので「利用方法を統一する」部分を細かく考えてほしい。 統一によって利用者が利用しやすい方法であること	Ⅲ-3-①	B	ご意見をいただきありがとうございます。交流センターの利用しやすい環境を整えるなど、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			を願います。			
66	161	P38	<p>1 交流センターの市民の利用については、市民の誰もが自由で便利に集い、しかも民主的に、平等に使えるのが理想ですが、それを担保する運営については、市行政としても、細心の注意や準備、仕組みがなければならない、と思います。</p> <p>2 地元住民の自治を優先すると、当然そこには、地元で力のある一部の人々が、組織全体を牛耳り、自分勝手な考えの下にセンター活動が運営されかねません。</p> <p>3 私は運営システムの詳細は分かりませんが、長年、地元の同じ人が運営に関わっていると、そういう問題が起きやすい、のは当然の理であり、内部では、それを是正するのは至難の技でしょう。</p> <p>4 交流センターの管理運営については、透明、公平、民主的に、行えるよう、その運営の仕方、規制の仕方、仕組み、について、市民も参加できるチームを作って一定期間、検討し、いいシステムづくりを探していく必要がある、と思います。</p>	Ⅲ-3-①	D	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言とは趣旨が少し異なっていますが、貴重なご意見として受け取らせていただきます。
67	162	P38	交流センターは日立市の直営で運営してほしい。運営委員会等の民間団体に委託しないでほしい。コミュニティ推進会（交流センターの利用団体）が交流センター（市の施設）の使用許可を兼務しているのはおかしい。使う人が自ら許可している構造になっている。自治会や町内会は役所の下請け団体ではないのに、コミ	Ⅲ-3-①	D	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言とは趣旨が少し異なっていますが、貴重なご意見として受け取らせていただきます。

No.	該当ページ	内容	分野	反映状況	市の考え方
		<p>ユニティ推進会に、そして交流センターに組み込まれている。</p> <p>コミュニティ推進会という任意の団体が交流センターに団体事務局を置くのはやめてほしい。あたかも「準公共団体」であるかの錯覚を市民に与えてしまっているからだ。交流センターは、特定の私人が地域の個人情報も一手に握れる構造になっている。</p>			
68	163	P38	III-3-③	A	ご意見をいただきありがとうございます。III-3-③の取組など災害に備える活動について、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。
69	164	P38	III-3-③	B	ご意見をいただきありがとうございます。III-3-③の取組など災害に備える活動について、今後策定予定の行動計画などでさらなる検討をさせていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			<p>す。</p> <p>このためには、行政とコミュニティ・交流センター両輪の連携稼働が重要と考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の防災支援機能の充実・向上と防災設備・備品類の充実</li> <li>・地域・交流センター一体となった 防災行動（訓練）の継続、防災意識の持続活動への取組み</li> <li>高齢者・子どもたちの見守り、防災の意識付け・防災行動（訓練）への支援</li> <li>日常的な防災を意識した活動の模索と実践</li> </ul> <p>「災害に備える活動」が交流センター・地域の行動計画に柔軟に取り込まれることが必要かつ大事で、これらの実践が地域の皆様の結びつきの拡がりに繋がればよいと思います。</p>			
70	165	その他	<p>日立市の23 コミセンはとても良いが、それ以上に市民（特に高齢者）は活動を求めている。学校が生徒減少の為に統合されるのを機に使える校舎を地域住民が集まる場所にしてはどうか？地域の社協も弱体化している中、新しい形として協力し合う地域の形が必要である。学校ごとに使える校舎、室内も様々だが、音楽室があれば音楽活動チームが、図工室があれば工作活動チームが、その地域で違って良いと思います。</p>		C	<p>ご意見をいただきありがとうございます。検討委員会の中でもいろいろな意見があった部分ですので、今後の参考とさせていただきます。</p>

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			健康寿命を延ばすべく、コンパクトシティとして地域住民で活性化していくべきです。			
71	166	その他	もしかしたら 課題とはかけ離れるかも知れませんが 安心安全 笑顔あふれる日立市にすることが大切かと思いますがどうでしょうか？ 例えばいざというときに強い日立市 電柱などの無断張り紙や店舗まえの雨水の垂れ流しなど清掃の行き届かない地域密着の店舗などに声かけをするなど清潔感のある日立市などみんなで協力仕合せかけのできる日立市内や些細な事でも気軽に声かけができる日立市にして魅力あふれるコミュニティを築いてほしいです。		B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
72	167	その他	実現は難しいけれど、子どもから老人まで近くにいることで、いろいろなことをお互いに学ぶことが可能な地域編成がされているとよい（小学校、幼稚園、若者広場、交流センター、老人福祉センター、自由交流広場 等） 静けさは期待できないデメリットもある。		B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
73	168	その他	「自分で延ばそう健康寿命」活動を展開しようとするものです。健康寿命を延ばすためには①正しい食事、②適切な運動、③社会参加が重要であります。これを3者（日立市、茨城キリスト教大学、ふれあいの郷・金沢）で共同研究することを提案するものです。本案を足がかりにいただき、関係団体（事業者）の話し合いの中からのいろいろな方策を見つけ出し、じっく		D	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言とは趣旨が少し異なっていますが、貴重なご意見として受け取らせていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			りと腰を据え、行く行くは全市に展開できればと思っていますところ。現在全市内で取組み展開している「ラジオ体操」運動とも連携してはと思います。			
74	169	その他	ふれあいの郷・金沢は現在、金沢団地集会所を主として活動しておりますが、今後金沢幼稚園閉園に伴い、その後利用として「ふれあいの郷・金沢の活動拠点並びに元気カフェ設置」について提言し、金沢町、台原町、大沼町、みかの原町等日立市南部山側団地の福祉資源の増強を提言するものです。		D	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言とは趣旨が少し異なっていますが、貴重なご意見として受け取らせていただきます。
75	170	その他	新型コロナウイルス感染症の影響は大きく交流センターの機能そのものを停止して活動が出来なくなる事態になっています。現在は第3波が収束しつつありますが従来の状態にもどるには長い時間がかかると予想されます。 そのため交流センターへ行けば安心な状態に出来るように設備を増強し換気設備などを導入することやテレワークのように地域の住民と接する設備を導入することの検討をぜひ委員会の中でやってもらいたいと考えます。		B	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言では個別の具体策については、明示はしてはおりませんが、今回の提言と併せて、行動計画策定の中で検討させていただきます。
76	171	その他	コミュニティ推進会がコミュニティの代表といったような印象を受けますが、会での決定=住民の意思、と捉えられては非常に困ります。 日立市で、この先子育てしていくことを非常に不安視しています。		D	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言とは趣旨が少し異なっていますが、貴重なご意見として受け取らせていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			一部の利権ある古い人たちの非民主的な行いを正さない限り、若い世帯の定着は叶わないと思います。			
77	172	その他	編集者や会長の好きなように、コミュニティ推進会の広報紙に掲載しているのではないか。ある個人の独断でコミュニティが運営されているように思う。これでは、コミュニティ推進会に協力し活動しようとは思えない。		D	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言とは趣旨が少し異なっていますが、貴重なご意見として受け取らせていただきます。
78	173	その他	<p>交流センターが気軽に立ち寄れる場所であることが求められているとあるが、当交流センターはあまりにも立地が悪い。当学区の交流センターは学区の外れにあり、駐車場も狭い。かつグラウンドも狭く（庭程度）近隣住宅と近接しており、騒音等のクレームも出やすい。みんなが気軽に立ち寄れる場所を求めらるのであれば、まずはアクセスが良くてある程度広い敷地で活動出来る必要がある。</p> <p>1 交流センターは学区の中央にあること。  2 駐車場が広くとれる場所であること。  3 バス路線沿いにあること。（運転しない人のために）  4 小学校、中学校の近くにあること。（学校との連携は多いため）  5 ある程度広いグラウンドが必要、または近くにあること。</p> <p>等々を考慮した見直しを検討していただきたい。</p>		C	ご意見をいただきありがとうございます。検討委員会の中でもいろいろな意見があった部分ですので、今後の参考とさせていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
79	174	P32	3つの提言は素晴らしい。見える化してビジュアル化させることにより、具現化出来ると分かりやすくなると思います。日立の人口の年齢別を見ても高齢化が進んでいることが分かるように、コミュニティ活動は、必要だと思います。生きがいのある生活、地域に住んで良かったと思われるように、地道に活動を盛り上げていくように、提言していくことが今後さらに必要に感じます。参加しやすいようにしていくことが大切です。	Ⅱ-1-③	B	ご意見、ご期待を寄せていただきありがとうございます。今回の提言を基に、よりよい行動計画を策定できるよう努力していきます。
80	175	その他	毎月2回発行される市報に対し、以下提案させていただきます。月1回あるいは2ヶ月に1回に減らすべき。 理由 1 毎回配布を担当しているが、あまりにも回数が多い。 2 これにかかわる費用削減（税金の無駄をなくす）。		D	ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言とは趣旨が少し異なっていますが、貴重なご意見として受け取らせていただきます。
81	176	その他	細部にわたり調査していると感じます。コミュニティ活動に積極的に参加しないといけない年代になったと実感しました。		—	ご意見、ご期待を寄せていただきありがとうございます。今回の提言を基に、よりよい行動計画を策定できるよう努力していきます。
82	177	その他	定年退職後5年の65歳、男で集合住宅（マンション）に妻と二人で住んでおります。コミュニティ活動の重要性について、よく言われておりますが、私には実感がありません、生活に身近な市報は、マンションの管理人さんがポストに入れておいてくれるし、ゴミについても月・木の週2回、再生資源は月1回決められた		C	ご意見をいただきありがとうございます。検討委員会の中でもいろいろな意見があった部分でもありますので、今後の参考とさせていただきます。

	No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
			<p>集積所に分別して置いておきます。自分の親族の葬儀も葬儀屋さんを手配し、質素に済ませることが出来ました。</p> <p>10年前の東日本大震災時、一時中小路小学校へ避難しましたが、あまりの人の多さですぐに自宅マンションに戻りました。これまで人様に迷惑を掛けないように生きてまいりました。これからもそうしたいと思えます。</p>			
83	178	その他	<p>コミュニティ推進会会長が学区（地区）を代表するかのよう活動したり、広報紙に私見・自説を掲載する行いはいかがなものかと思う。</p>		D	<p>ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言とは趣旨が少し異なっていますが、貴重なご意見として受け取らせていただきます。</p>
84	179	その他	<p>1 スローガン 全国に誇る日立市の宝をみんなで磨こう</p> <p>2 日立市の宝 日本最古のカンブリア紀の地層</p> <p>3 主旨 ①日本最古のカンブリア紀の地層は、「かみね公園」「小木津山自然公園」「十王パノラマ公園と十王ダム」「御岩山」など見学しやすい場所にあり、カンブリア紀の岩盤が所々顔を出している。 ②顔を出している箇所の周りの土砂を取り除くとさらに岩盤が現れ、美しい。土砂に埋もれてほったらかしの日立の宝を皆の手できれいにする。</p> <p>4 効果</p>		D	<p>ご意見をいただきありがとうございます。今回の提言とは趣旨が少し異なっていますが、貴重なご意見として受け取らせていただきます。</p>

No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
		<p>①日立市民に、宝探しのようなワクワク感、きれいにするという爽快感、日本最古の日立の財産を磨くという誇りと満足感を与える。</p> <p>②日立市役所は許可を与えること、当初は監視下に置くため職員を出す、流れが出来れば参加者に最低限の取り決めを与え、比較的自由に土砂を除かせることで、あまりお金を掛けずに市民の力を借りて公園の美化ができる。</p> <p>5 次のステップ</p> <p>①以前と見違えるほど美しくなった段階でマスコミにPRして観光客を集める。</p> <p>②市外から人が集まり始めたら、市の予算で一気に迫力あるものに工事をする。</p> <p>③ひたちなか海浜公園に来る観光客がついでに寄る観光地という位置付けから各公園群のまとまった観光化を図る。</p> <p>④人が集まるようになれば日立のまちは活性化するので、駐車場を完備して、海浜公園のついでではなく、日立の公園群を目当てに観光客が来てお金を落としてくれるような受け入れ体制を作る。</p> <p>⑤外から入るお金は講公園の美化、催し物、宣伝費に使い、ますます人を呼べるようになり、コミュニティとともに街は発展する。</p> <p>6 最後に</p>			

No.	該当 ページ	内容	分野	反映 状況	市の考え方
		<p>日立は第一次産業の日立鉱山の城下町、次いで第二次産業の日立製作所の城下町として発展して来たが、過去に縛られないで、次は第三次産業に活路を見出したい。</p> <p>そのための柱になるのが、日立独自の「日本最古のカンブリア紀の地層」。</p> <p>ブラタモリの影響で地盤は決して地味な学問でなく、人々に知的興奮を与えるものとなった。</p> <p>知的な人材がそろっている日立で、このお宝に陽の目を見させて、観光業のサンライズを実現させて欲しい。</p>			